

機密性の評価

このガイドラインの対象は本学の教育・研究、大学業務に関わる電子データであり、各所属員個人に属するデータは対象としない

機密性	概要	具体例
機密性 I	公開されても支障がなく、かつ以下の条件に該当するもの ・改ざんが行われても重大な被害がない ・所有権が移転しても支障がない	<ul style="list-style-type: none"> ・公開SNS等での個人的なやり取り ・個人が特定されるような情報が含まれない雑多な情報
機密性 II	公開を前提としたもの	<ul style="list-style-type: none"> ・広報用Webページでの公開している情報 ・広報用のSNS等に掲載する公開している情報 ・公開を前提とした教育・研究に関する情報(教員業績DB、シラバス、オープンコースウェア、公開用の研究データ・研究成果) ・公開を前提としたライブ配信データ ※データ内の画像・動画・資料等については権利処理(著作権・肖像権)がすべて明確に完了していることが前提となる <ul style="list-style-type: none"> ・構成員以外の者も利用できるシステムのマニュアル
機密性 III	公開を前提としていないもの	<ul style="list-style-type: none"> ・研究室の卒業生の進路情報 ・受託研究等、学外の組織が関わるものの中でも機密性が低い情報 ・研究に関する情報のうち、万が一漏えいしたとしても影響が軽微なもの ・ファイルにエクスポートされたメールデータのうち機密性IV、Vの内容を含まないもの ・本学の規定 ・授業や学内のイベントを収録した動画データ ・将来的に公開することを前提とした情報の原稿(作成途中のWebページの原案やシラバスの原稿等) ・学生に提示する教材 ・学生から提出されるレポート ・その他教育・研究の為に用いる情報で、機密性IV、Vの内容を含まないもの ・学外機関からの依頼を受けて作成した情報で、機密性IV、Vの内容を含まないもの ・構成員のみが利用できるシステムのマニュアル
機密性 IV	特定の職制、グループ又は部局等以外に対して機密を保持すべきもの	<ul style="list-style-type: none"> ・住所、氏名、生年月日、メールアドレス、電話番号など一般的な個人情報が集積されたもの 例) 本学学生教職員の個人情報、学外者(本学で実施した催し物の参加者等)の個人情報、入学予定者の情報 ・学生指導の過程を記載したデータ ・受託研究等、学外の組織が関わるものの中でも機密性が高い研究に関する情報 例) 国の機関が関わる受託研究のデータや、漏洩することで共同研究者に損害を与える可能性のある研究データ ・入試情報・財務情報等、本学の経営の根幹に関わる情報 例) 入試に関わる非公開情報、本学の戦略に関わる非公開情報
機密性 V	特定の関係者以外に対し厳重に機密を保持すべきもの	<ul style="list-style-type: none"> ・成績原簿に関する情報 例) 学生の成績データ ・人事評価等、機密性の高い人事情報 例) 人事評価 ・医療に関する情報 ・決済に関わる情報 例) クレジットカード番号(ならびにセキュリティコードなど付随する情報)、銀行口座番号等 ・個人に割り当てられた公的なIDに関する情報 例) マイナンバー、パスポート番号、ビザ番号、社会保険番号など